

5人に感謝状

仙台藩白老元陣屋資料館友の会

仙台藩白老元陣屋資料館友の会感謝状贈呈式が12月1日、同館で行われ、安藤尚志教育長から功績のあった5人に感謝状が贈られました。

受賞は川西政幸さん（会長）、高橋淳一さん（顧問）、武田信昭さん、梶原洋子さん、宮森知津子さんの5人です。贈呈式には4人が出席しました。

同会は昭和59年10月資料館開館とともに発足。5人は長年にわたり、ガイド業務などを通して教育行政の推進に多大な貢献をしてきました。今回は開館40周年を記念しての表彰です。



東京白老会

東京白老会（橋本聖子会長）の総会・懇親会が11月18日、全国町村会館（東京都）で開かれ、関係者が親睦を深めました。

懇親会・総会には会員ら72人が出席しました。大塩英男町長が町制施行70周年の各種事業を紹介しながらあいさつし、白老のさらなる飛躍を呼び掛けました。また、山岡達丸衆議院議員が祝辞を述べました。

会場では白老牛のハンバーグが振る舞われたほか、白老牛やたらこなどの特産品が当たる抽選会なども行われ、出席者は白老の味を堪能しながら心ゆくまで交流を楽しんでいました。



タウンミーティング

町長と町民がまちづくりについて対話する「タウンミーティング」が12月5日、いきいき4・6で開かれ、大塩英男町長と介護保険・障がい者支援事業者連絡協議会が人口減や高齢化について考えました。

団体が対象の今回は同協議会から21人が出席し、「現状サービスの維持には介護職員不足が課題」「外国人職員導入に向けて、外国人の定住と育成の取り組みを」「人口減対策として教育と福祉を軸にした施策を」などの意見がありました。

大塩英男町長は定住対策に関して「白老の子育て支援を町内外に発信していく」などと説明。「さまざまな声をしっかり受け止めていきたい」と話していました。

